

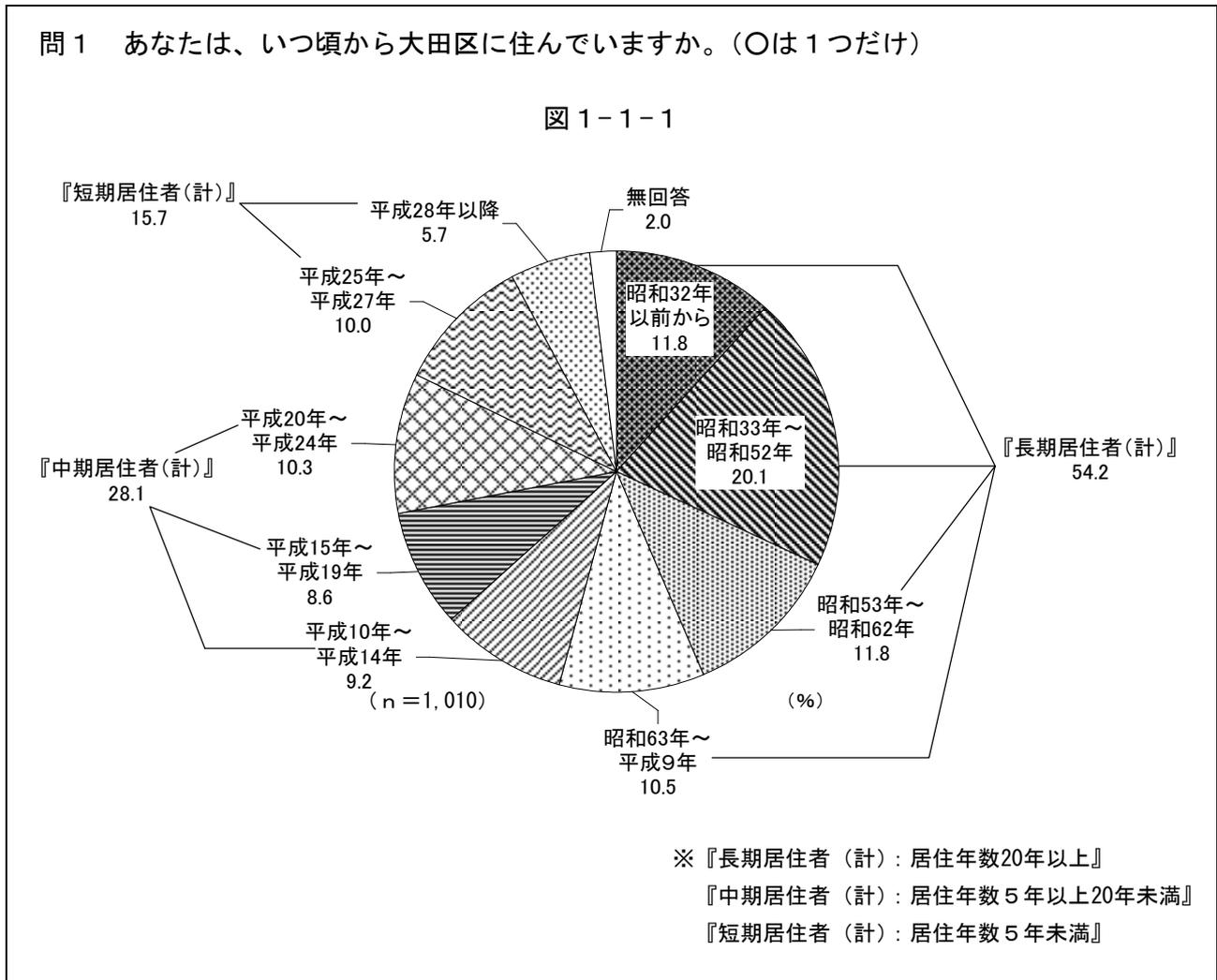
Ⅲ 調査結果の分析

Ⅲ 調査結果の分析

1. 定住性

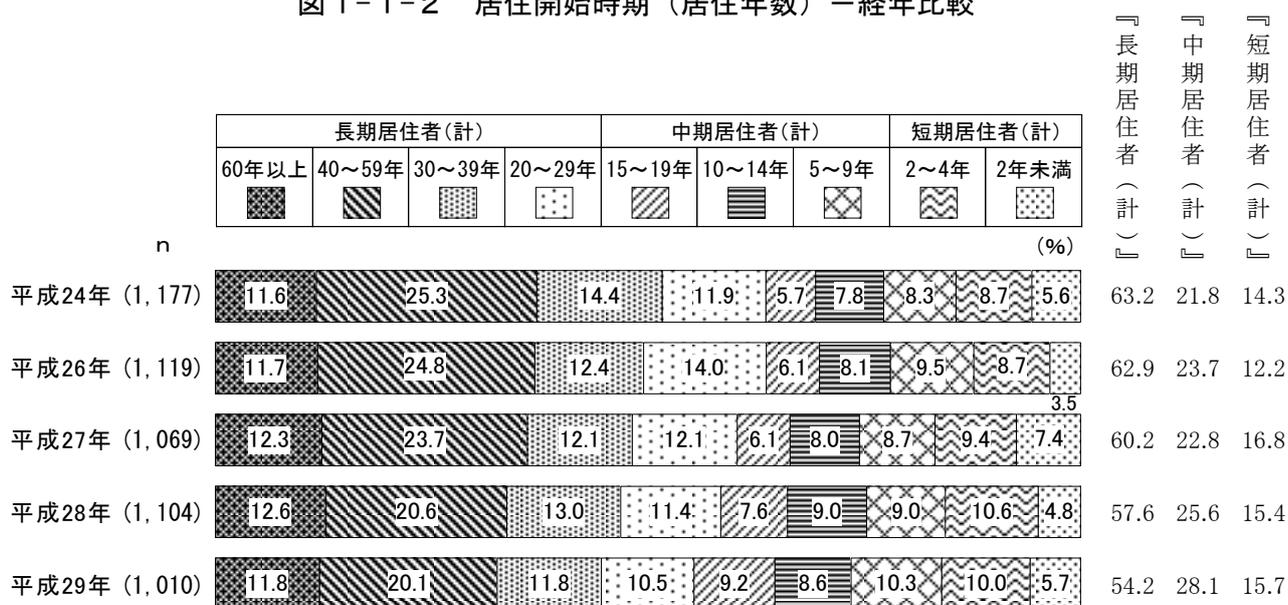
(1) 居住開始時期

◇「平成9年以前から住んでいる方」を表す『長期居住者（計）』は5割半ば



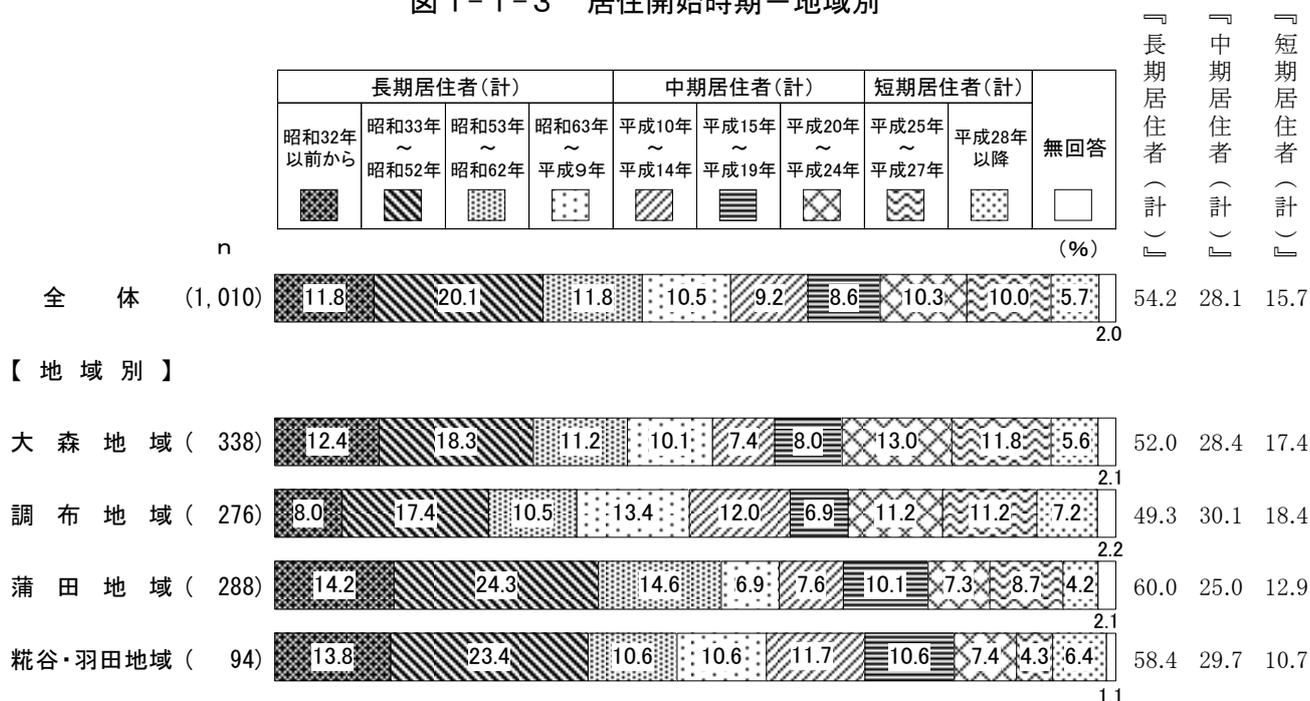
居住開始時期を聞いたところ、「昭和33年～昭和52年」（20.1%）が2割で最も高く、これに「昭和32年以前から」（11.8%）、「昭和53年～昭和62年」（11.8%）、「昭和63年～平成9年」（10.5%）を合わせた『長期居住者（計）（居住年数20年以上）』（54.2%）は5割半ばとなっている。「平成10年～平成14年」（9.2%）、「平成15年～平成19年」（8.6%）、「平成20年～平成24年」（10.3%）を合わせた『中期居住者（計）（居住年数5年以上20年未満）』（28.1%）は3割近くで、「平成25年～平成27年」（10.0%）と「平成28年以降」（5.7%）を合わせた『短期居住者（計）（居住年数5年未満）』（15.7%）は1割半ばとなっている。（図1-1-1）

図 1-1-2 居住開始時期（居住年数）一経年比較



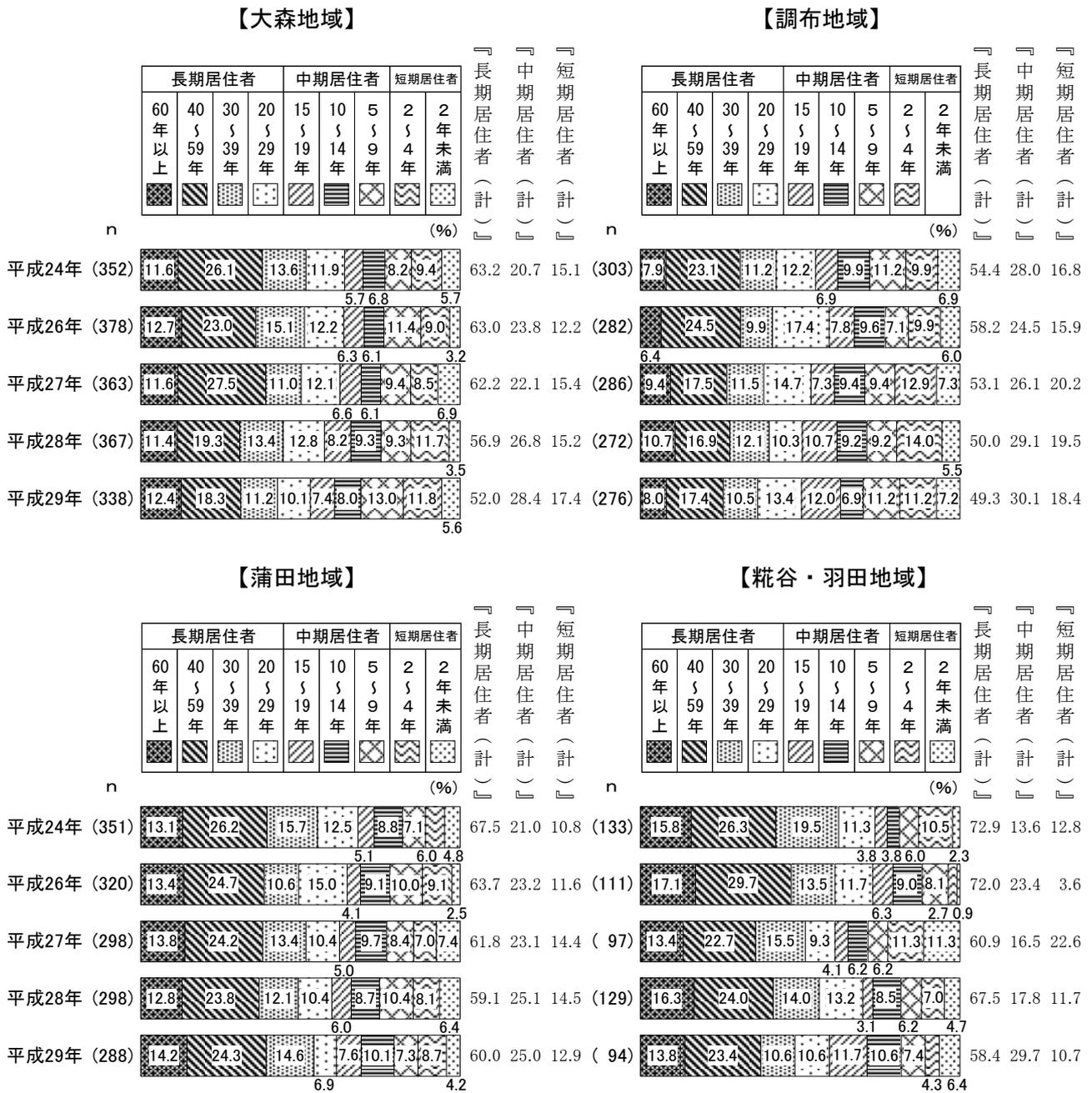
大田区への居住開始時期を居住年数に換算して経年比較をした。『長期居住者(計)』は平成24年以降減少傾向にあり、前回より3.4ポイント減少している。『中期居住者(計)』は前回より2.5ポイント増加している。(図1-1-2)

図 1-1-3 居住開始時期一地域別



地域別でみると、『長期居住者(計)』は蒲田地域(60.0%)で6割と高くなっている。『中期居住者(計)』は調布地域(30.1%)と糀谷・羽田地域(29.7%)で3割と高くなっている。『短期居住者(計)』は調布地域(18.4%)と大森地域(17.4%)で2割近くとなっている。(図1-1-3)

図1-1-4 居住開始時期（居住年数）一地域別（経年比較）



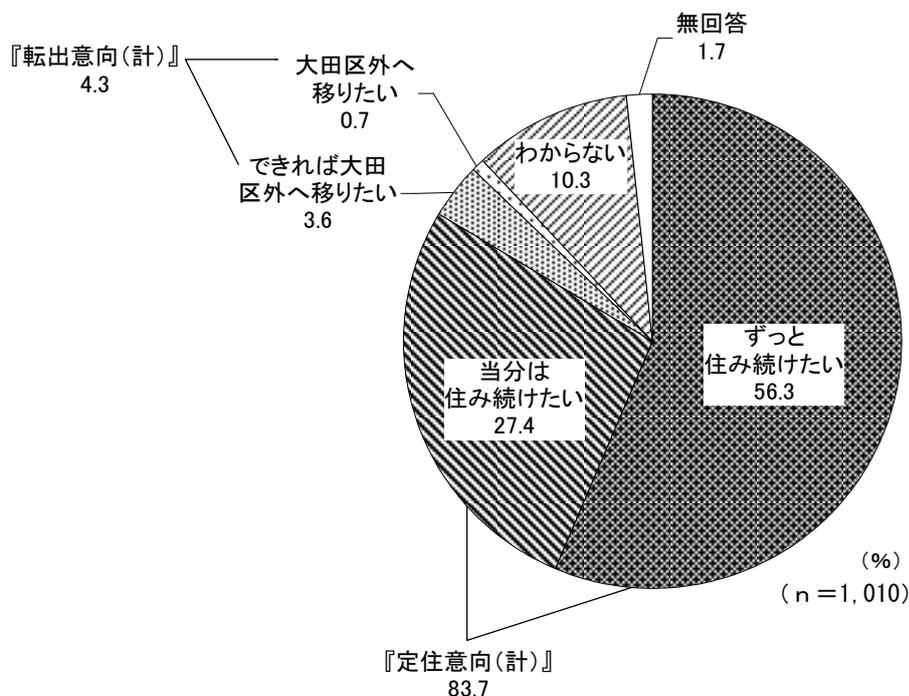
地域別で大田区への居住開始時期を居住年数に換算した経年比較をみると、大森地域では平成24年以降『長期居住者（計）』が減少傾向にある。また、調布地域では平成24年以降『長期居住者（計）』が他の地域と比べて最も低くなっている。（図1-1-4）

(2) 定住意向

◇「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」を合わせた『定住意向(計)』は8割を超える

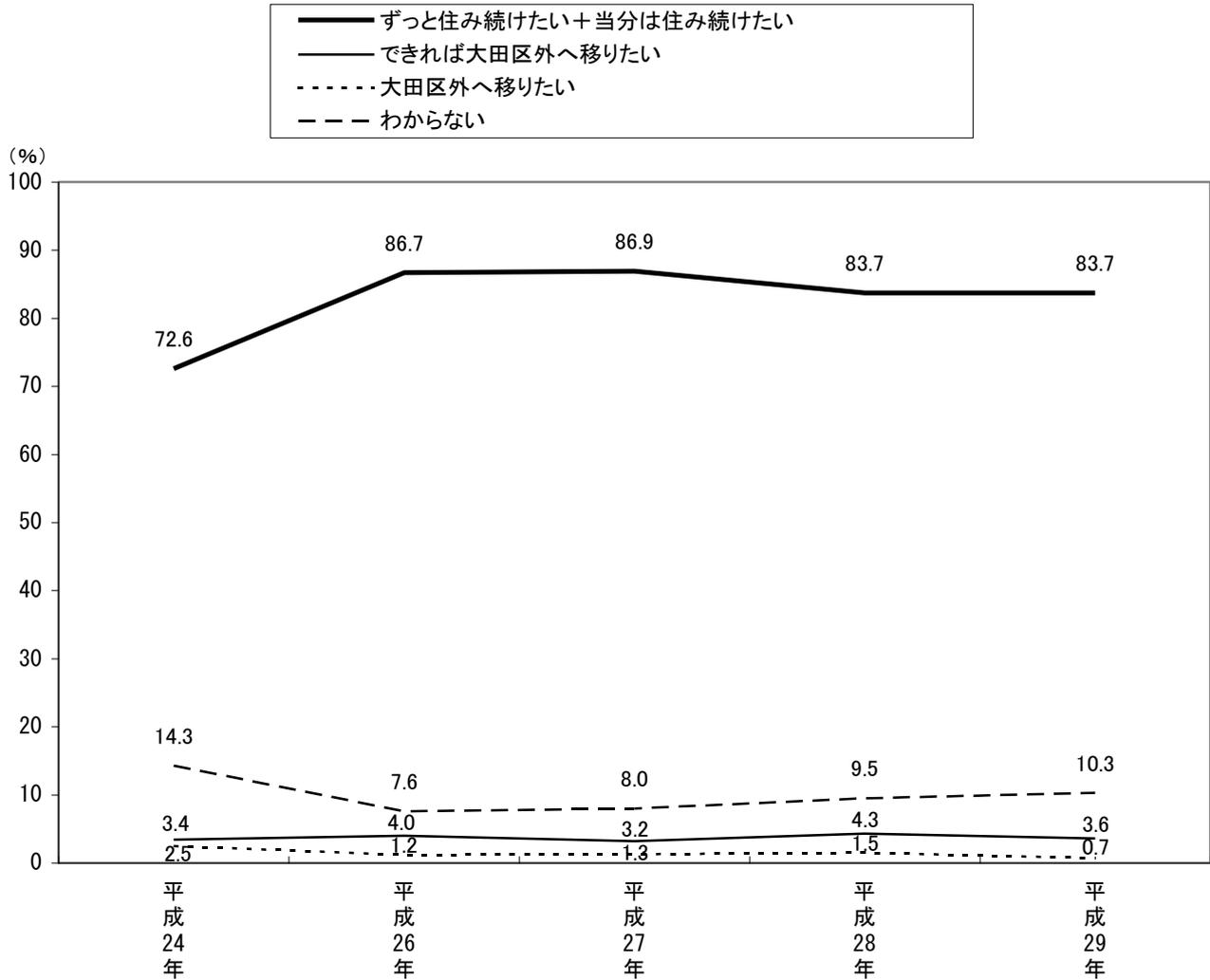
問2 あなたは、これからも大田区に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)

図1-2-1



定住意向を聞いたところ、「ずっと住みたい」(56.3%)が5割半ばで最も高く、これに「当分は住みたい」(27.4%)を合わせた『定住意向(計)』(83.7%)は8割を超えている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」(3.6%)と「大田区外へ移りたい」(0.7%)を合わせた『転出意向(計)』(4.3%)はわずかとなっている。(図1-2-1)

図 1-2-2 定住意向一経年比較

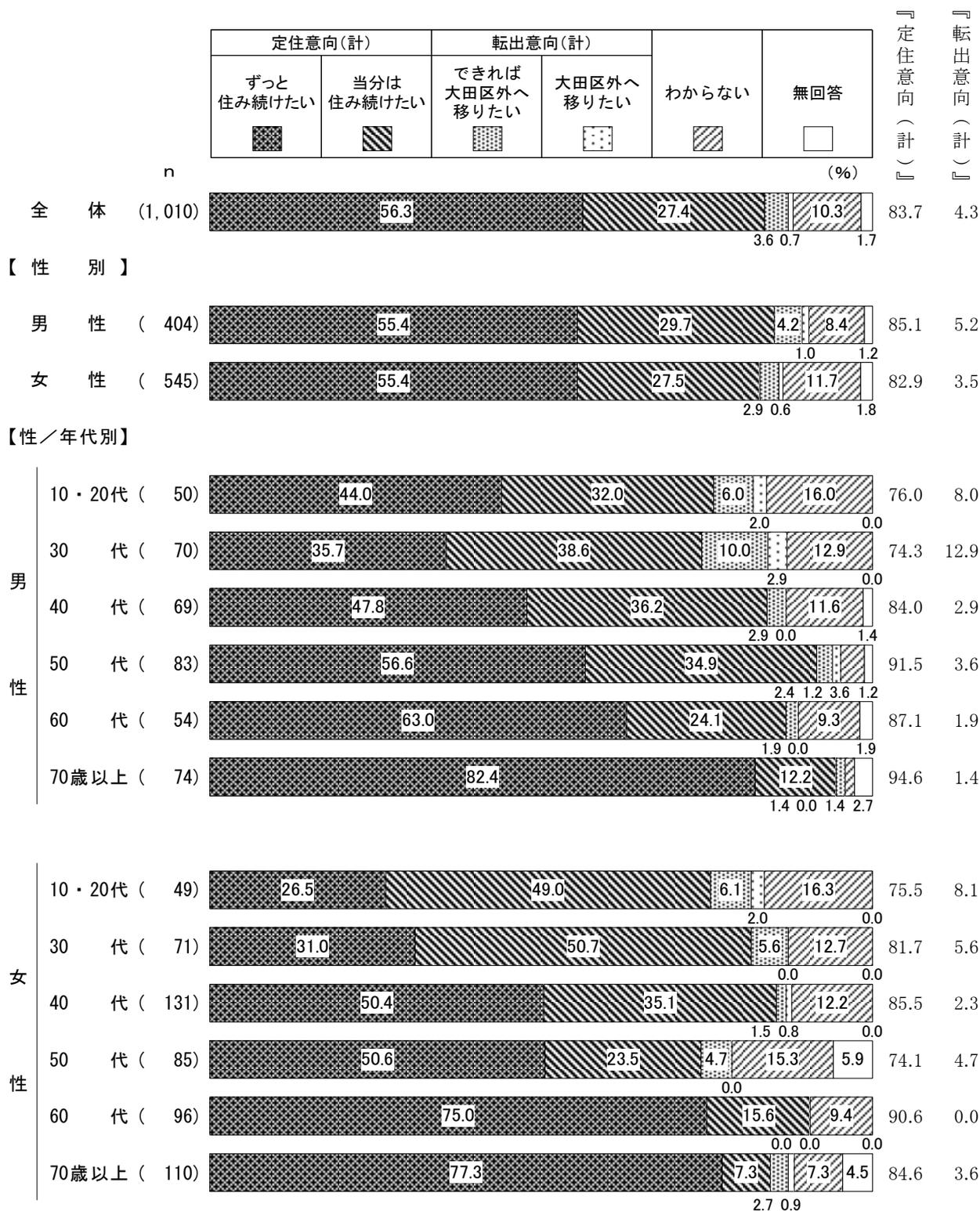


[※1]平成26年から選択肢を4肢[※2]から5肢へ変更したため、「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」を合計し、平成24年以前の「これからも住みたい」と比較した。また、「できれば大田区外へ移りたい」は平成24年以前の「あまり長く住みたくない」と比較した。

[※2]平成24年以前の選択肢「これからも住みたい」「あまり長く住みたくない」「大田区外へ移りたい」「わからない」

経年比較をみると、今回調査と同じ選択肢で質問している平成26年以降、『定住意向（計）』は8割台で推移している。（図1-2-2）

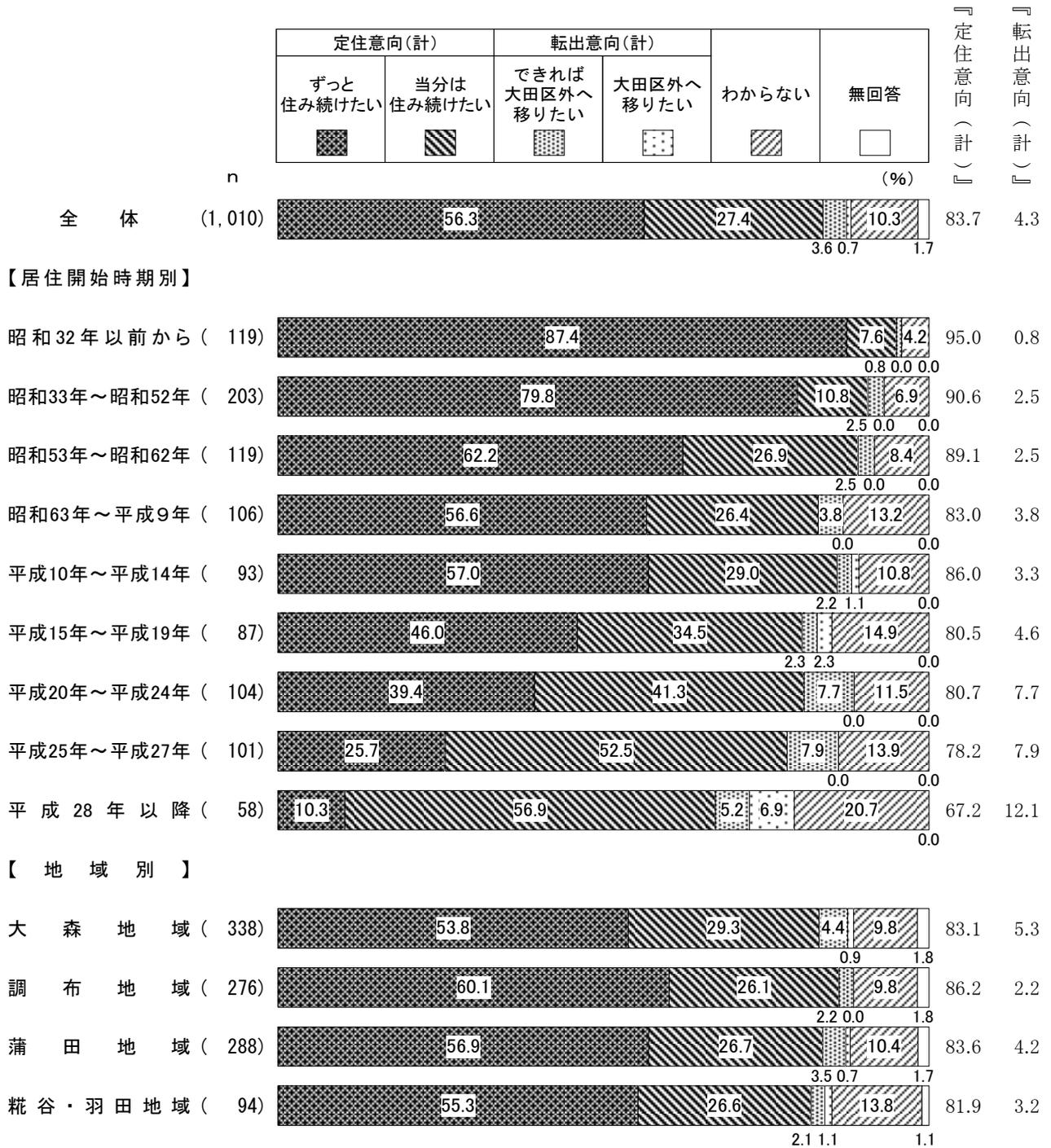
図 1-2-3 定住意向一性／年代別



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、「ずっと住み続けたい」は男女ともにおおむね年代が高くなるほど割合が高く、男性70歳以上（82.4%）で8割を超えている。『定住意向（計）』は男性70歳以上（94.6%）で9割半ばと高くなっている。一方、『転出意向（計）』は男性30代（12.9%）で1割を超えているほかは、いずれも1割未満となっている。（図1-2-3）

図 1-2-4 定住意向—居住開始時期別、地域別

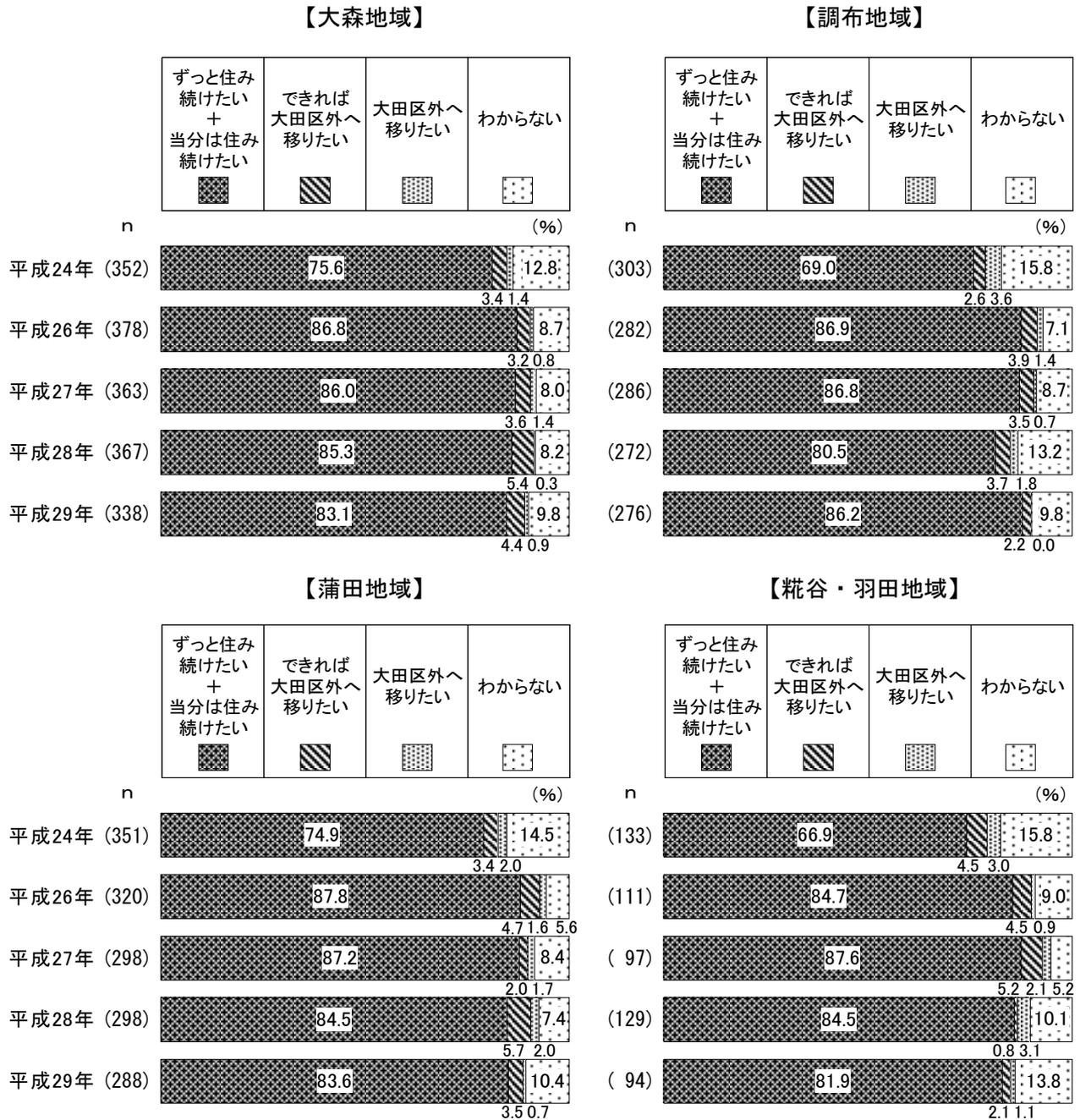


居住開始時期別で見ると、「ずっと住みたい」はおおむね居住年数が長くなるほど割合が高く、“昭和32年以前から（居住年数60年以上）”（87.4%）で9割近くとなっている。『定住意向（計）』は“平成28年以降（居住年数2年未満）”（67.2%）で7割近くとなっているほかは、いずれも7割以上となっている。

地域別で見ると、「ずっと住みたい」は調布地域（60.1%）で6割と高くなっている。

（図 1-2-4）

図 1-2-5 定住意向—地域別（経年比較）



[※1]平成26年から選択肢を4肢[※2]から5肢へ変更したため、「ずっと住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合計し、平成24年以前の「これからも住みたい」と比較した。また、「できれば大田区外へ移りたい」は平成24年以前の「あまり長く住みたくない」と比較した。

[※2]平成24年以前の選択肢「これからも住みたい」「あまり長く住みたくない」「大田区外へ移りたい」「わからない」

地域別で経年比較をみると、今回調査と同じ選択肢で質問している平成26年以降、全ての地域で『定住意向（計）』は8割台で推移している。（図1-2-5）

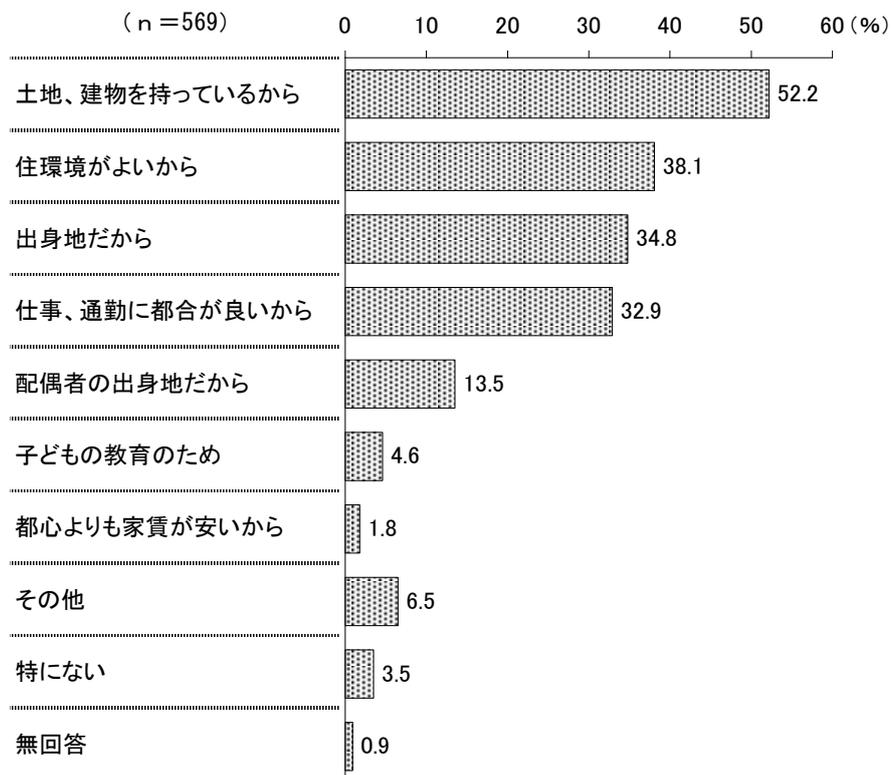
(3) ずっと住みたい理由

◇「土地、建物を持っているから」が5割を超える

(問2で、「ずっと住みたい」と回答した方に)

問2-1 「ずっと住みたい」理由は何ですか。(〇はいくつでも)

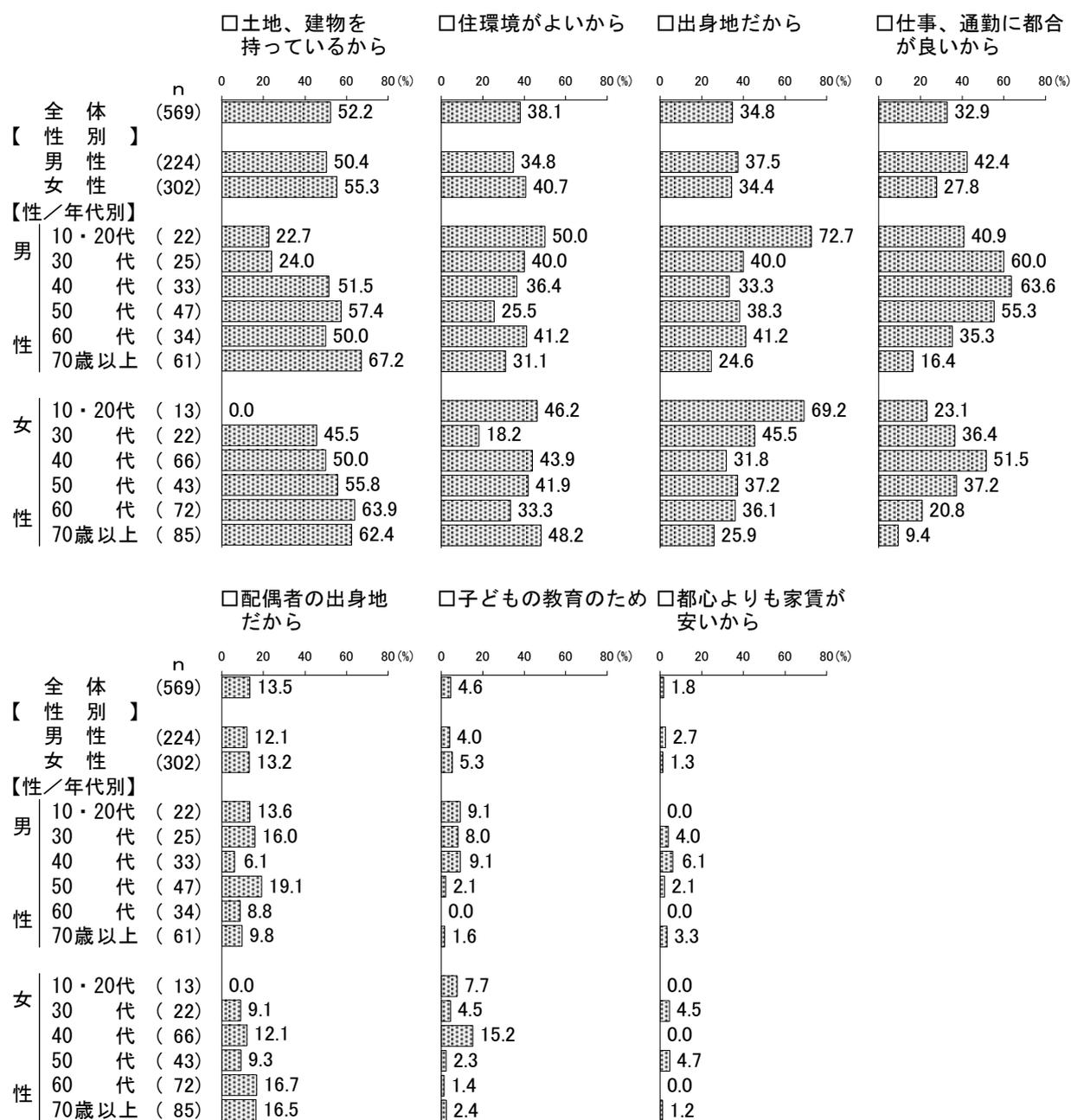
図1-3-1



これからも大田区に「ずっと住みたい」と答えた人(569人)に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」(52.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「住環境がよいから」(38.1%)、「出身地だから」(34.8%)、「仕事、通勤に都合が良いから」(32.9%)、「配偶者の出身地だから」(13.5%)などの順になっている。

「その他」への回答として、「住み慣れている」、「交通の便が良い」、「友人が多い」、「家族が近くに住んでいる」などがあげられている。(図1-3-1)

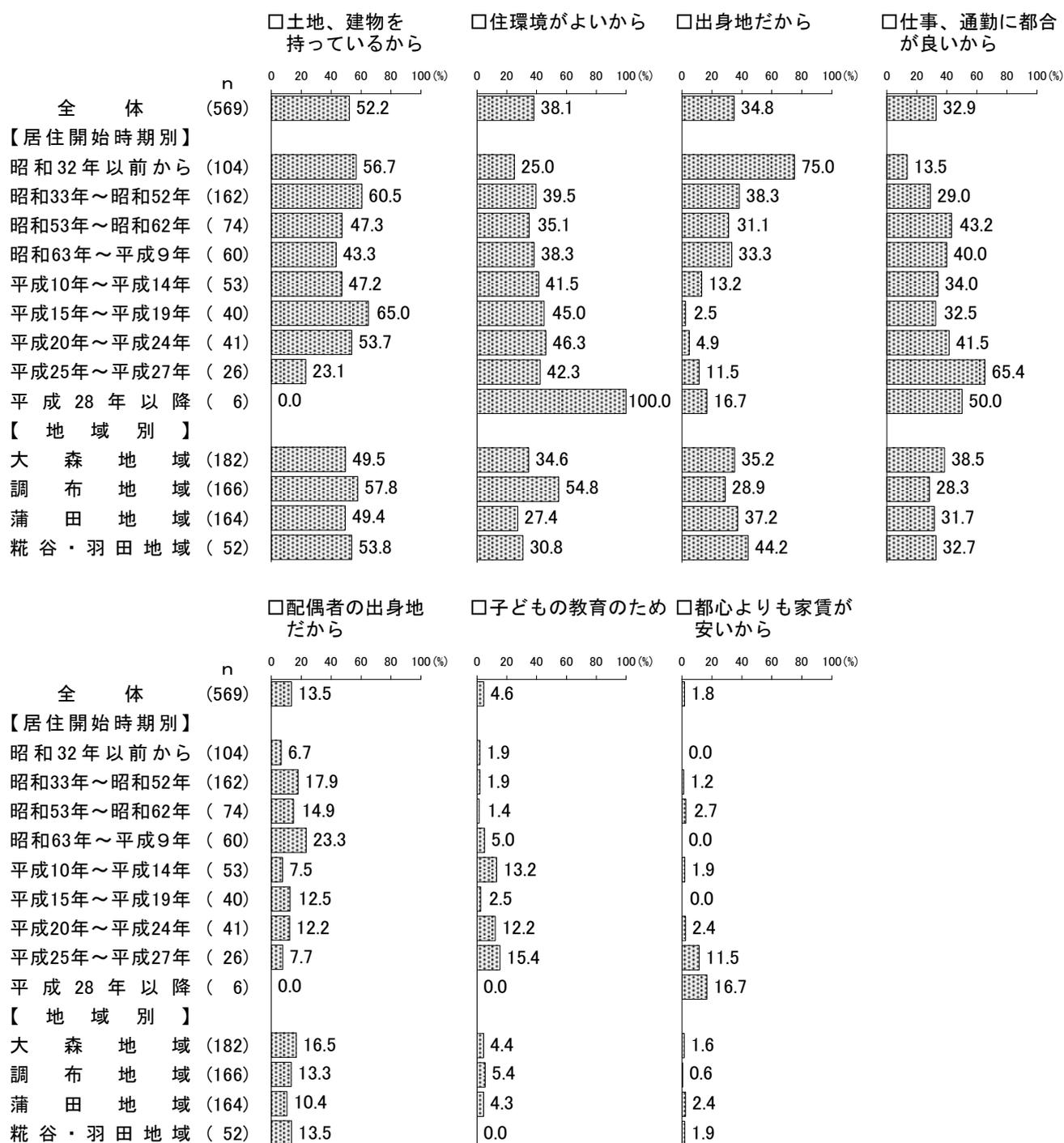
図 1-3-2 ずっと住みたい理由—性／年代別



性別で見ると、「仕事、通勤に都合が良いから」は男性（42.4%）が女性（27.8%）より14.6ポイント高くなっている。一方、「住環境がよいから」は女性（40.7%）が男性（34.8%）より5.9ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、「土地、建物を持っているから」は男性70歳以上（67.2%）と女性60代（63.9%）、女性70歳以上（62.4%）で6割台と高くなっている。「仕事、通勤に都合が良いから」は男性40代（63.6%）で6割を超えて高くなっている。（図1-3-2）

図1-3-3 ずっと住みたい理由—居住開始時期別、地域別



居住開始時期別で見ると、「土地、建物を持っているから」は“平成15年～平成19年（居住年数10年以上15年未満）”（65.0%）で6割半ばと高くなっている。「出身地だから」は“昭和32年以前から（居住年数60年以上）”（75.0%）で7割半ばと高くなっている。

地域別で見ると、「土地、建物を持っているから」は調布地域（57.8%）で6割近くと高くなっている。「住環境がよいから」は調布地域（54.8%）で5割半ばと高く、「出身地だから」は糞谷・羽田地域（44.2%）で4割半ばと高くなっている。（図1-3-3）

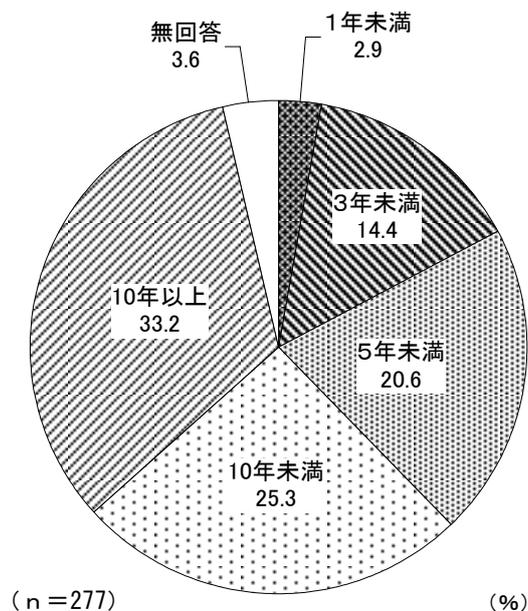
(4) 当分は住み続けたい期間

◇「10年以上」が3割を超える

(問2で、「当分は住み続けたい」と回答した方に)

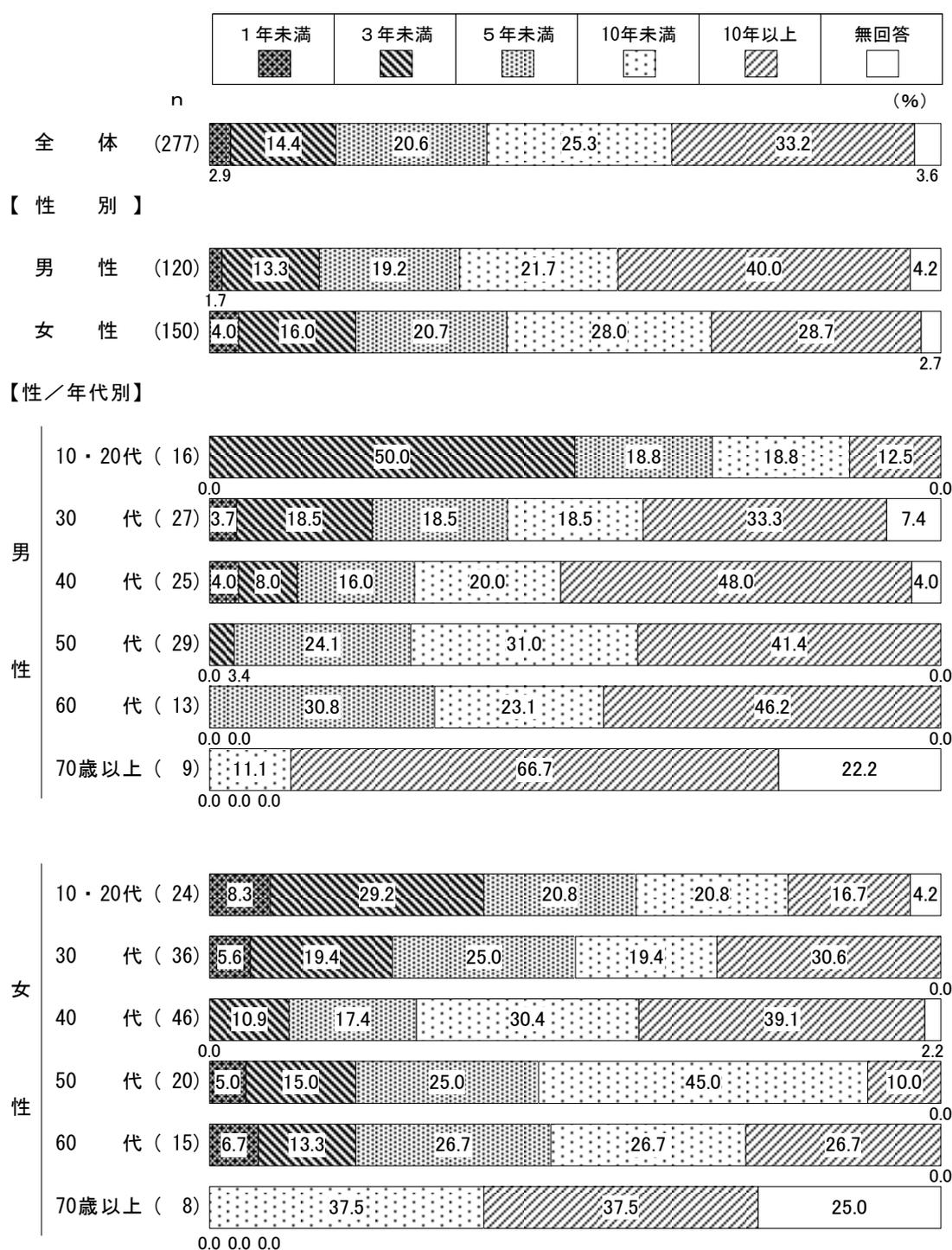
問2-2 「当分は住み続けたい」とはどのくらいの期間で理由は何ですか。(○は1つだけ)

図1-4-1



大田区に「当分は住み続けたい」と答えた人(277人)に、それはどのくらいの期間か聞いたところ、「10年以上」(33.2%)が3割を超えて最も高く、次いで「10年未満」(25.3%)、「5年未満」(20.6%)、「3年未満」(14.4%)などの順になっている。(図1-4-1)

図 1-4-2 当分は住み続けたい期間－性／年代別



性別でみると、「10年以上」は男性（40.0%）が女性（28.7%）より11.3ポイント高くなっている。

性／年代別でみると、「10年以上」は男性40代（48.0%）で5割近く、女性40代（39.1%）で約4割と高くなっている。（図1-4-2）

また、「当分は住み続けたい」と答えた理由については、218人から233件の回答があった。住み続けたい期間別に分類して整理した結果は以下のとおりである。

①「1年未満」と答えた理由（計5件）

- 既に転居の予定があるため……………2件
- 建物が老朽化しているから……………1
- 子どもが独立したから……………1
- 賃貸住宅の更新時期まで住む予定だから……………1

②「3年未満」と答えた理由（計40件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから……………8件
- 子育て環境のよいところに移転したいから……………3
- 転勤の可能性があるから……………3
- 交通の便が良いから……………3
- 買物の便など生活に便利だから……………3
- 進学・独立するため……………2
- 結婚する、する予定があるため……………2
- 親や子どもが住んでいる場所、または出身地に戻る予定があるから……………2
- 既に転居の予定があるため……………2
- その他……………12

③「5年未満」と答えた理由（計47件）

- 仕事や通勤・通学に都合が良いから……………9件
- 転勤の可能性があるから……………5
- 子育てを終えるまでは住居を変えたくないから……………4
- 転居の可能性があるため……………4
- 住みやすいから……………3
- 家族の介護や自身の健康上の理由から……………3
- 他の場所に住んでみたいから……………3
- 親や子どもが住んでいる場所、または出身地に戻る予定があるから……………2
- 他に住みたい土地がない、移転する理由が特になから……………2
- 広い家に住みたいから……………2
- その他……………10

④ 「10年未満」と答えた理由（計61件）

- 親や子どもが住んでいる場所、または出身地に戻る予定があるから…………… 7件
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 5
- 子どもの教育上の理由から…………… 5
- 交通の便が良いから…………… 5
- 家族の介護や自身の健康上の理由から…………… 4
- 子どもの成長に合わせて住居を変えたいから…………… 4
- 都会から離れて暮らしたいから…………… 3
- 他の場所に住んでみたいから…………… 3
- 土地、建物を持っているから…………… 2
- 住み慣れているから…………… 2
- 転勤の可能性があるので…………… 2
- 住みやすいから…………… 2
- 定年退職するまで現在の住まいで暮らしたい…………… 2
- 買物の便など生活に便利だから…………… 2
- 引っ越しをしたいから…………… 2
- その他…………… 11

⑤ 「10年以上」と答えた理由（計80件）

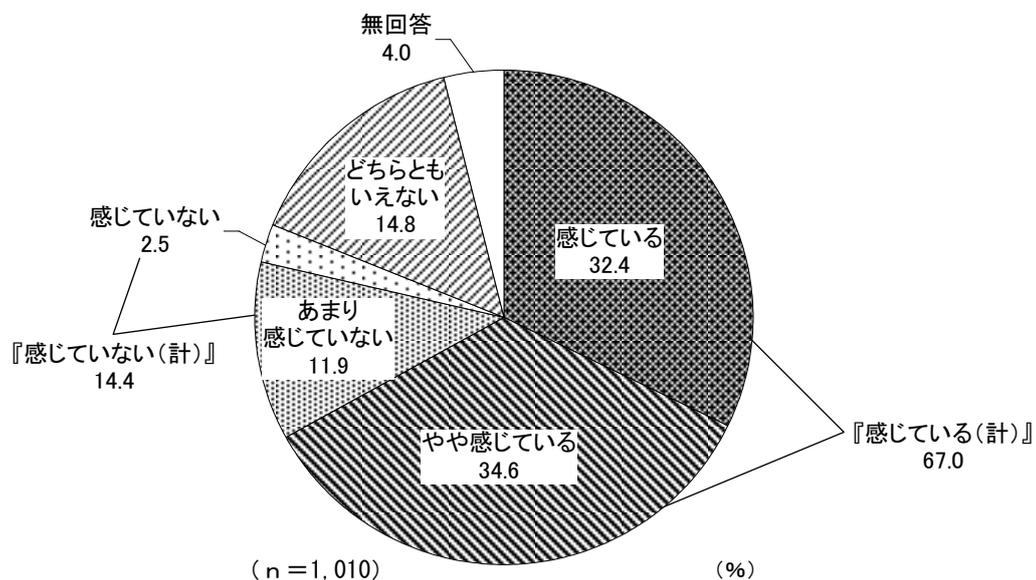
- 仕事や通勤・通学に都合が良いから…………… 12件
- 子どもの教育上の理由から…………… 7
- 土地、建物を持っているから…………… 6
- 現在の住まいに特に不満がないから、移転する理由が特になから…………… 6
- 将来のことはわからないから…………… 6
- 大田区出身だから、大田区に実家があるから…………… 5
- 親や子どもが住んでいる場所、または出身地に戻る予定があるから…………… 5
- 都会から離れて暮らしたいから…………… 4
- 交通の便が良いから…………… 4
- 子育て環境が良いから…………… 4
- 住み慣れているから…………… 3
- 子育てを終えるまでは住居を変えたくないから…………… 3
- 老後に転居する可能性があるから…………… 3
- 他に住みたい場所があるから…………… 2
- その他…………… 10

(5) 住んでいるまちが魅力的か

◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は7割近く

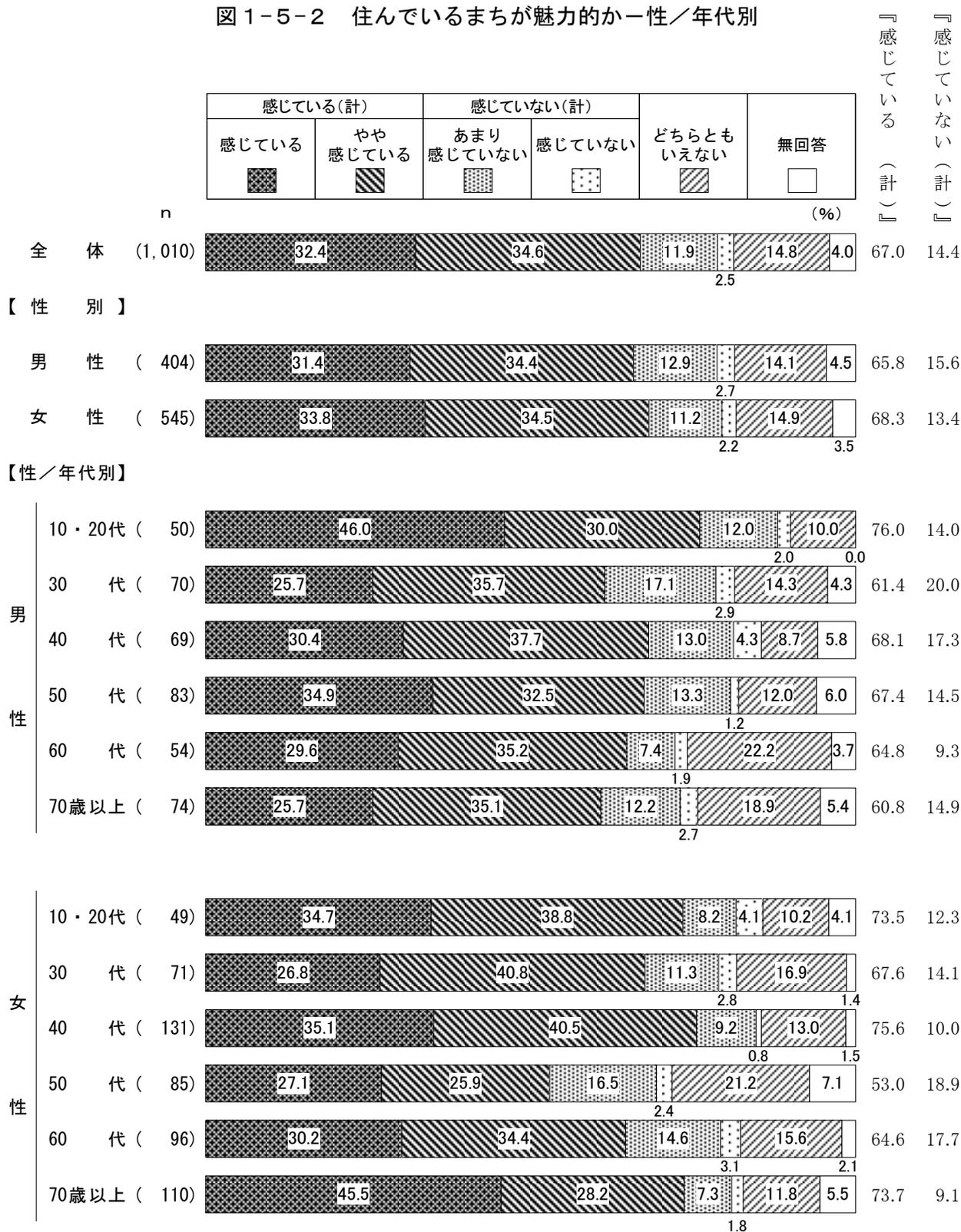
問3 あなたは、住んでいるまちが魅力的であると感じていますか。(○は1つだけ)

図1-5-1



住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「やや感じている」(34.6%)が3割半ばで最も高く、これに「感じている」(32.4%)を合わせた『感じている(計)』(67.0%)は7割近くとなっている。一方、「あまり感じている」(11.9%)と「感じていない」(2.5%)を合わせた『感じていない(計)』(14.4%)は1割半ばとなっている。(図1-5-1)

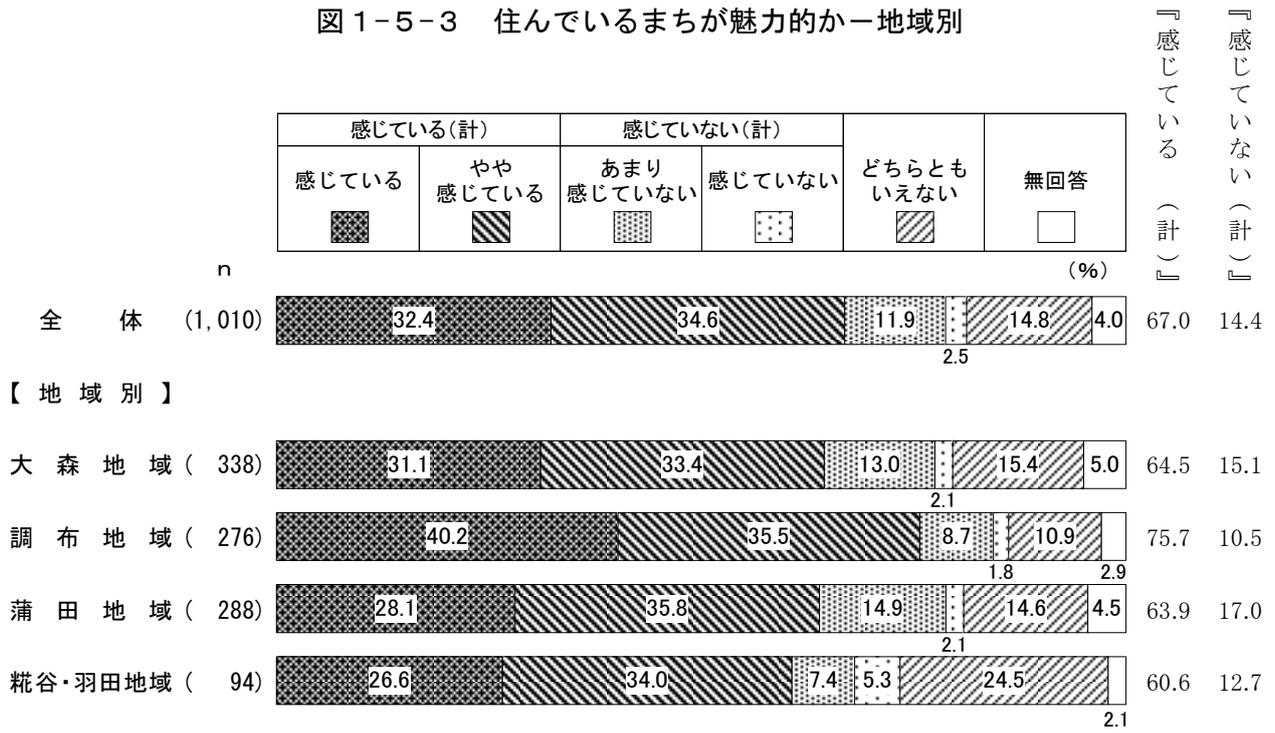
図 1-5-2 住んでいるまちが魅力的かー性／年代別



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、『感じている(計)』は男性10・20代(76.0%)と女性40代(75.6%)で7割半ばと高くなっている。一方、『感じていない(計)』は男性30代(20.0%)で2割と高くなっている。(図1-5-2)

図 1-5-3 住んでいるまちが魅力的かー地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(75.7%)で7割半ばと高くなっている。

(図 1-5-3)